

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

みずほ台年少軟式野球大会
大会実行委員長 渡辺 純

本ガイドラインは公益財団法人全日本軟式野球連盟作成 JSBB 感染予防対策ガイドラインを参考にし、作成いたしております。今後の知見集積及び感染状況を踏まえて見直すことがあります。

【はじめに】

学童・大人にかかわらず、活動再開によって感染拡大をさせないことは勿論のこと、無症状であっても他人に感染させる事があることを、日々の活動や試合に関わる全ての人が認識してください。また、活動再開によって医療資源や医療従事者への負担、また罹患された方への差別等の問題があってはならないことを意識して活動してください。

【感染者が発生し行政・関係機関からの指導・協力要請があった場合】

行政・関係機関の指導により情報提供の要請などがあった場合はこれに従うものとする。しかしはじめに述べたとおり差別などの問題が発生しないよう、連盟・チーム関係者は細心の注意をはらうものとする。新型コロナウイルス感染症を発症した場合速やかに濃厚接触者の有無を富士見市教育委員会生涯学習課に報告をするため、連盟への報告をお願いいたします。

【各チーム活動における予防対策及び遵守事項】

- ・毎日の体調チェックを行い体調がよくない場合、又は下記に該当する症状がある時は参加を見合わせる。 (例：発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、嗅覚味覚の異常等の症状)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加を見合わせる。
- ・14 日以内に感染者との濃厚接触者と特定された方は参加できません。(濃厚接触者の定義は症状の出た日の 2 日前から、距離 1 メートル前後に接近しマスクなしで 15 分以上会話などがあった場合とされています * 日々変わる可能性有り)
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加できません。
- ・活動に参加した者を把握すること。(学童だけではなく、指導者、帯同者、見学者等)
- ・こまめな手洗い(石鹸を使い 30 秒以上)、うがい、アルコール等による手指、共用道具の消毒を徹底する。
- ・全選手が密集、密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ・活動中、それ以外の場面も含め周囲の人とできるだけ 2 メートル以上(最低 1 メートル)の距離を空ける。(介助者や誘導者の必要な場合を除く)
- ・走るトレーニングにおいては前の人の呼気の影響を受けるため、可能であれば前後一直線に並ぶことを避ける。

- ・移動、着替え時等のスポーツ活動以外はできるだけマスクを着用する。但し屋外で 2メートル以上の距離が確保できる場合は熱中症リスクを考慮しマスクを外させる。
- ・マスクを着用しての活動の場合は運動強度を落とすこと。
- ・目、鼻、口に極力触れないように心がける。つばや痰をはかない。
- ・必要以上に大きな声で会話応援等はしばらくのあいだは我慢する。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有はしない。
- ・飲食については指定場所（指導者が監視できる場所）で対面を避け距離も考える。
- ・各自で水筒などを準備し、休憩や水分補給の時間を多くとること。
- ・成長期である事を考慮し、個人のペースに合わせるよう障害予防に努めること。
- ・感染後活動に復帰した者については、より身体機能の低下が予想されるため、特に活動の強度や時間に注意する。
- ・体調不良、けがをした者の介助をする者はあらかじめ 2 名以上決めておきそのものが行うようにする。
- ・保護者、指導者、参加者についても他人との距離をとり、感染予防対策を徹底するようお願いいたします。

【上記以外で大会参加者等が遵守する事】

- ・参加チームは大会当日感染対策チェックリスト、会場利用者名簿、チーム責任者チェックリストを必ず提出すること。本用紙はメンバー票にはなりません。（個人情報の取扱には十分に注意いたします。）
- ・チーム以外の大会関係者もチェックリストを提出すること。
- ・選手、チーム関係者、役員、主催者、審判員は球場・会場に入る際は必ずマスクを着用すること。
- ・検温は当日必ず自チーム大会役員・審判員は自身で行って、個人用チェックリスト「当日の体温異常がない」の欄に体温を記載してください。
- ・体温計、消毒液は各チームで用意してください。

※これより先は埼玉県スポーツ少年団西部ブロック野球部会様の運営方針を参考に作成いたしております。

- ・会場での密接を避けるため会場入りは 1 時間前とします。早く到着してしまった場合は駐車場などで密を避けて待機してください。必ず大会役員の許可を得て入場してください。

開始時間が 9 時の場合 8 時から入場可能です。早く到着してのアップなどはできません。基本試合時刻を繰り上げて行わないものとします。

開始予定時刻で進行

- ・ベンチ入りメンバーは密を避けるためベンチをはみ出すことを容認します。見学者が座らないようにして広く使用してください。
- ・前チームの退場を確認してから入場しテント、試合中に使用する消毒液等の設営を行ってください。
- ・ベンチ内においてマスク着用、消毒実施・適切な距離の状況を把握する者はチーム責任者とするが応援

者見学者のマスク、消毒状況適切な距離等を把握する者（利用者名簿に星印をつけておく）は 1 名以上決めておくこと。実施されていない場合責任者に警告をいたします。

警告実施後守られない場合は、チーム全員退場していただきます。

- ・守備側の選手はマスクを着用しなくて良い。
- ・攻撃時は、打者・次打者以外は原則マスク着用とする。但しベンチ内密度の回避がはかられ 2メートル以上の距離がとられているなどの場合マスクを着用しなくても良い。指導者はマスク着用とする。
- ・マスクは持参した記名済みのビニールにいれ各自で管理すること。グラウンド内選手への吸水はマイ水筒のみとする。
- ・タオルの使い回しは禁止とします。持参した物を使用すること。
- ・グラウンドで使用するヘルメット・キャッチャー防具等は適時消毒をする。バッティンググローブの使用を推奨します。ボールボーイも手袋（軍手等）の着用を推奨します。
- ・会場内での飲食はなるべく避けていただきたいが、活動中の注意事項のとおり手洗い、消毒を行い、距離をとり対面を避け、会話は控えてください。
- ・試合中の応援については、感染予防の観点から以下のとおりとする。
選手同士、指導者・選手の「握手」「ハイタッチ」「グータッチ」等の行為は禁止とします。
上記について「エアータッチ」等を考案しても結構です。
- ・試合中のベンチからの声援・支持の「大声」、「歌」を避け、拍手・ジェスチャーのみとする。
- ・観客席からの応援は「大声」を避け、「拍手」のみとする。
- ・試合チームの応援観客については、密集を避け 2メートル以上の間隔をあける。この距離が確保できなければ予め応援人数を調整してください。
- ・試合終了後ベンチ消毒を行い次の試合を行うチームにベンチ入りを案内してください。
- ・移動の際、車を利用する場合同乗の同意を保護者同士で行ってください。車内においては換気を行い、密閉状態を避けてください。
- ・グラウンド内審判員への給水は行わないものとするが、両チームにおいて飲み物の置き場所を確保してください。クーラーボックスか発泡スチロール等が望ましい。
- ・球審はマスクやシールドを着用、塁審はマスクをしません。協議等があるのでマスクは常に携帯してください。
- ・猛暑の場合選手同様、審判休憩タイムを適時とるようにします。
- ・会場内の水場は密集がしやすいので、指導者や保護者の指導の下、利用させてください。
- ・メンバー表交換は本部席に限らず距離が保てる場所で行うものとする。選手同士、監督同士の握手はしないこと。
- ・試合開始前、試合終了後の両チーム集合は選手同士、審判同士十分な距離をとって整列し握手せず礼のみとする。
- ・開会式は行いません。
- ・大会終了後のカップなどの授与方法は検討中です。